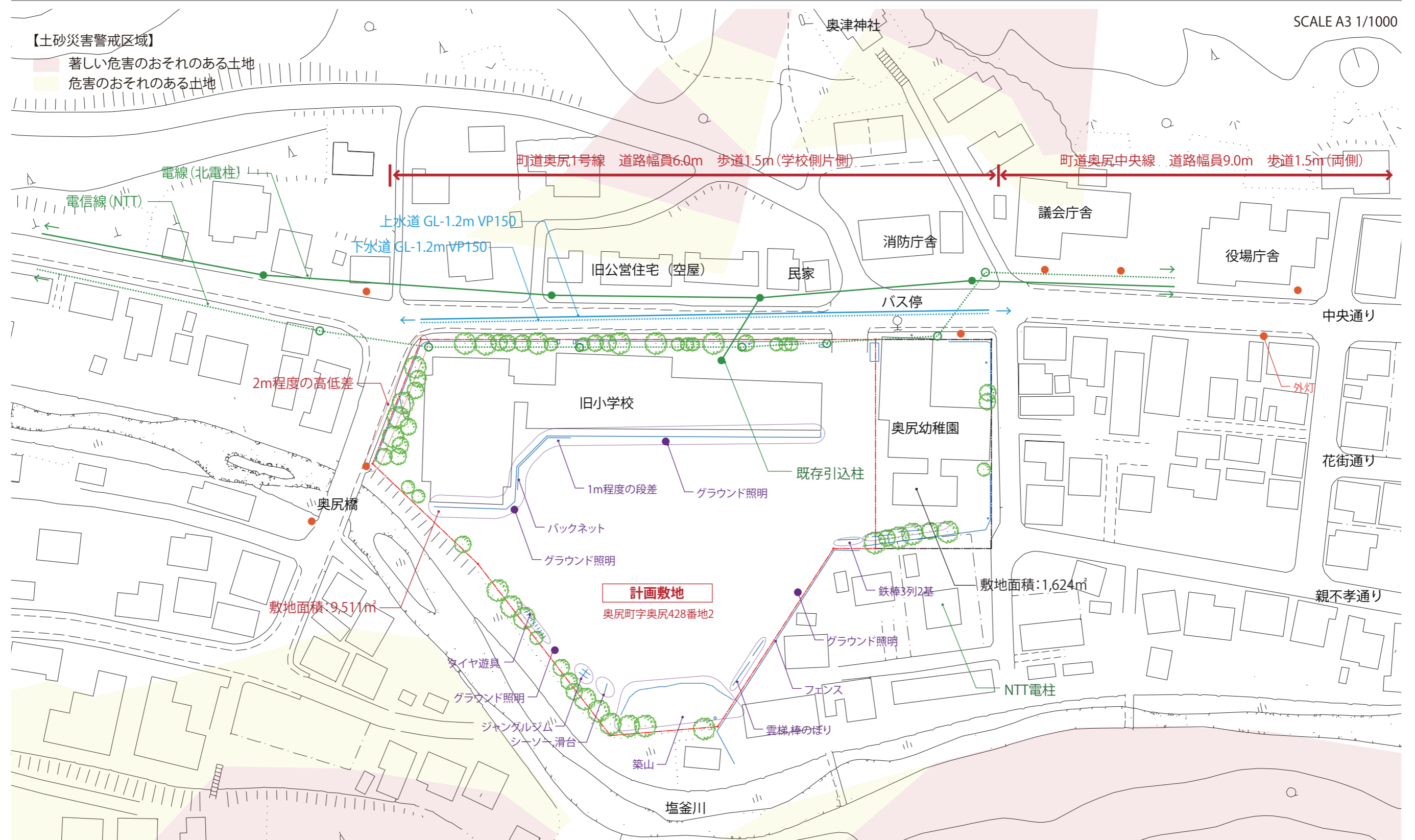


3章 配置計画

3-1	敷地の状況について	・・・15
3-2	配置計画の条件について	・・・18
3-3	新庁舎の配置イメージ	・・・19

3-2 敷地の状況について



3-2 配置計画の条件について

以下に配置計画の条件を設定します。

【敷地の概要】

- ・所在地：奥尻町字奥尻 428 番地 2
- ・敷地面積：約 9,500 m²（基本計画時は敷地確定、測量調査未実施）
- ・地域地区：都市計画未設定
- ・防火指定：無し
- ・容積率/建蔽率：無し
- ・日影規制：無し
- ・前面道路：町道奥尻 1 号線 道路幅員 6.0m 歩道 1.5m 学校側片側

【基本条件】

- ・駐車場、消防用地、町民広場、建物用地の 4 つのエリアを設ける。
- ・町道奥尻 1 号側の幅員 4m の敷地は将来の道路拡幅を見込む。
- ・敷地南側の既存遊具付近は奥尻幼稚園での利用があるため計画エリアから除外する。

【各エリアについて】

- ・駐車場台数は来庁者駐車場 12 台（身障者用駐車場 2 台）、公用車駐車場 21 台とする。
合わせて駐輪場台数 12 台を計画する。
- ・敷地内にバス停を計画する。
- ・消防用地には消防エプロンを車庫前 15m 程確保する。
消防エプロンに日中消防車両を展開する。
- ・消防用地には屋外訓練場を適宜計画する。消防エプロンと共用が望ましい。
- ・町民広場を適宜計画する。歩行者が利用しやすい配置が望ましい。
- ・町民広場は災害時の一次避難や物資展開スペースとして利用する。

【動線について】

- ・消防車両動線と駐車場動線、歩行者動線を分け安全に配慮した計画とする。
- ・消防車両動線は迅速な出動が可能な動線が望ましい。

【その他配慮事項について】

- ・西側からの季節風に伴う雪庇の影響を考慮する。除雪エリア、耐雪スペースも考慮する。
- ・計画建物による周囲への日影の影響を考慮する。
- ・建物内の執務室の採光方向を考慮する。
- ・変形した敷地に対して建物形状への制約を考慮する。

3-3 新庁舎の配置イメージ

配置条件に加え以下の内容に配慮し計画を行います。

- ・敷地西側は約 2m程度の段差があるため町道奥尻1号線側から車両出入口を計画する。
- ・緊急出動に配慮して消防エリアは既存幼稚園から離して配置する事が望ましい。
- ・平屋建てが可能な建物用地の範囲を計画する。

以上を踏まえ、敷地中央に建築用地、東側に西側に消防用地、西側に駐車場及び町民広場を配置する以下のダイアグラムを基本的な配置イメージとします。

今後設計段階で建築計画や諸条件を考慮し再検討を行い、配置計画を決定します。

